令和元年第３回定例会

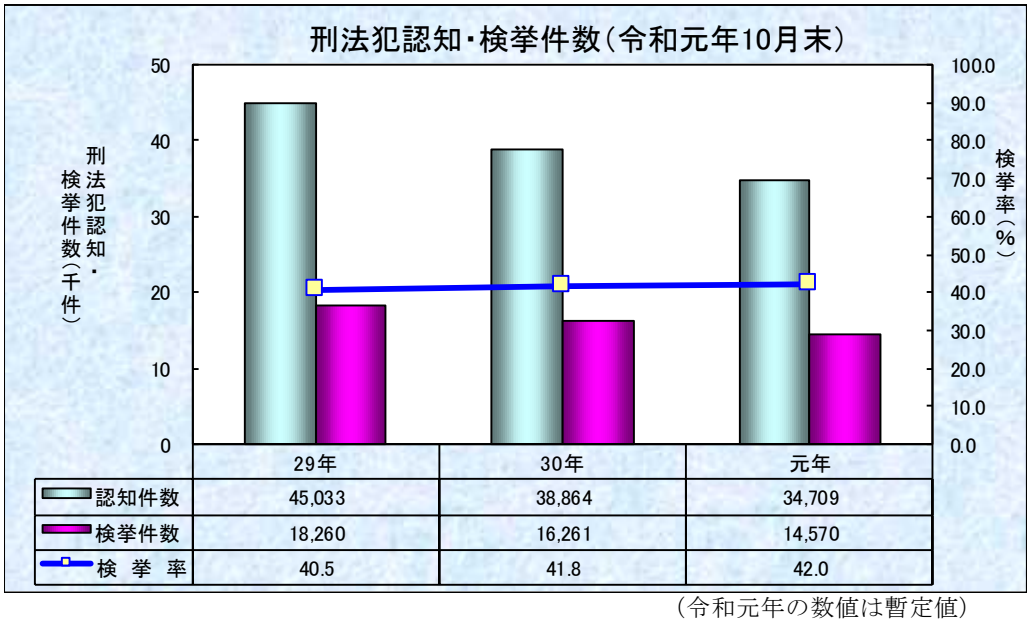
治　安　状　況

神　奈　川　県　警　察　本　部

共 通 項 目

○　県内の犯罪情勢（10月末）

- 刑法犯認知件数　３万4,709件（前年同期比　－4,155件）
- 刑法犯検挙件数　１万4,570件（前年同期比　－1,691件）
- 刑法犯検挙率　42.0％（前年同期比　＋0.2pt）



（令和元年の数値は暫定値）

生活安全部関係

1　犯罪の起きにくい社会の実現に向けた諸対策の推進

(1) 特殊詐欺被害防止対策の推進

- 関係機関・団体と連携した広報啓発活動の推進
- 迷惑電話防止機器等の普及促進

(2) 県民の身近なところで発生し、不安を与える犯罪の抑止対策の推進

- 発生実態に即した総合的な犯罪抑止対策の推進

(3) 子供の犯罪被害防止対策の推進

- 通学路等に対する警戒の強化
- 防犯ボランティア団体等と連携した見守り活動の実施

(4) 防犯カメラ設置促進に向けた取組の推進

- 県等が行っている防犯カメラ補助金制度の自治会等への周知
- 効果的な設置方法のアドバイス等の支援の実施

(5) 自主防犯活動の活性化に向けた取組の推進

- ボランティア団体に対する犯罪情報や防犯知識の提供
- 防犯ボランティア人材の裾野の拡大

(6) 繁華街・歓楽街の安全安心の確保に向けた総合対策の推進

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控えた風俗事犯等に対する指導・取締りの強化
- 関係機関との連携による合同査察の推進

２　人身安全関連事案への対応状況（10月末）

(1) ストーカー事案

相談等件数	768件	(前年同期比　－63件)
検挙件数	21件	(前年同期比　－33件)
警告	47件	(前年同期比　＋11件)
禁止命令	24件	(前年同期比　－10件)
緊急禁止命令	12件	(前年同期比　＋１件)

(2) 配偶者暴力事案

相談等件数	6,413件	(前年同期比　＋571件)
検挙件数	181件	(前年同期比　＋３件)

(3) 児童虐待事案

通告人員	9,351人	(前年同期比＋2,360人)
検挙件数	29件	(前年同期比　＋３件)

３　少年非行防止及び保護総合対策の推進（10月末）

(1) 非行少年の検挙・補導状況

検挙・補導人員　1,576人(前年同期比　－352人)

【主な特徴】

- 刑法犯で検挙・補導した少年の罪種別の割合で最も多いのは、窃盗の54.1%、このうち最も多い手口は万引きの21.4%
- 刑法犯で検挙した少年のうち、再犯者の占める割合は、34.2%

(2) 非行少年を生まない社会づくりの推進

ア　学校等の関係機関や少年警察ボランティア等と連携した少年の規範意識の醸成

イ　問題を抱える少年等への継続的な助言・指導等の立ち直り支援活動の推進

４　各種犯罪の検挙状況（10月末）

(1) 福祉犯罪の検挙状況

検挙件数	693件	(前年同期比　－１件)
検挙人員	613人	(前年同期比　－25人)

【主な特徴】

- 児童ポルノ法違反の検挙が増加
- 児童買春の検挙が減少

(2) 生活経済事犯の検挙状況

検挙件数	774件	(前年同期比－172件)
検挙人員	511人	(前年同期比－116人)

【主な特徴】

- ヤミ金融事犯の検挙が増加
- 知的財産権侵害事犯の検挙が減少

(3) 風俗関係事犯の検挙状況

検挙件数	779件	(前年同期比　－35件)
検挙人員	527人	(前年同期比　＋７人)

【主な特徴】
・　わいせつ物事犯及び外国人雇用事犯の検挙が増加
・　風俗営業事犯、売春事犯及び賭博事犯の検挙が減少

(4) サイバー犯罪の検挙状況
検挙件数　1,026件(前年同期比　－99件)

【主な特徴】
・　不正アクセス禁止法違反の検挙が増加
・　不正指令電磁的記録に関する罪の検挙が減少

刑事部関係

1　重要犯罪等の認知及び検挙状況（10月末）

(1) 重要犯罪の認知及び検挙状況

【重要犯罪】
殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐･人身売買及び強制わいせつ

認知件数　473件(前年同期比　－145件)
検挙件数　449件(前年同期比　－　57件)
検 挙 率　94.9%(前年同期比＋13.0pt)

【主な特徴】
・　重要犯罪は、認知件数、検挙件数が減少、検挙率が上昇
・　罪種別では、強盗の認知件数、検挙件数が減少、検挙率が下降

(2) 重要窃盗犯の認知及び検挙状況

【重要窃盗犯】
侵入盗(空き巣、金庫破り、事務所荒し、出店荒し、忍込み等)、自動車盗、ひったくり及びすり

認知件数　3,336件(前年同期比　－307件)
検挙件数　2,001件(前年同期比　－510件)
検挙人員　247人(前年同期比　－　40人)
検 挙 率　60.0%(前年同期比　－8.9pt)

【主な特徴】
・　認知件数、検挙件数、検挙人員、検挙率がいずれも減少
・　認知件数では、空き巣、金庫破り、事務所荒し、出店荒し及び自動車盗が減少、忍込み及びひったくりが増加
・　検挙件数では、空き巣が増加、忍込み、金庫破り、事務所荒し、出店荒し、自動車盗及びひったくりが減少
・　検挙人員では、金庫破り及びひったくりが増加、空き巣、忍込み、事務所荒し、出店荒し及び自動車盗が減少

(3) 特殊詐欺事件の認知及び検挙状況（10月末）

認知件数	2,262件(前年同期比	－85件)
被害総額	約40億8,600万円(前年同期比	－約10億1400万円)
検挙件数	417件(前年同期比	－19件)
検挙人員	140人(前年同期比	－51人)
検 挙 率	18.4%(前年同期比	－0.1pt)

【主な特徴】

・　類型別で、オレオレ詐欺が認知件数全体の約54％
・　キャッシュカード窃取型の認知件数が全体の約24％

2　組織犯罪の検挙状況等（10月末）

(1) 暴力団犯罪の検挙、行政命令の発出及び暴力団排除条例の適用状況

暴力団犯罪	検挙件数	1,315件（前年同期比－231件）
	検挙人員	456人（前年同期比－168人）
行政命令	中止命令	83件（前年同期比＋ 12件）
	再発防止命令	２件（前年同期比± ０件）
暴排条例	勧告	８件（前年同期比＋ ４件）
	中止命令	０件（前年同期比－ １件）
	事件検挙	１件（前年同期比－ １件）

(2) 薬物犯罪の検挙状況

検挙件数　1,119件（前年同期比－305件）
検挙人員　772人（前年同期比－173人）

【主な特徴】

・　検挙人員のうち、覚醒剤事犯が占める割合は約47.3％、大麻事犯が占める割合は約47.2％

【押収量の内訳】

覚醒剤　1,487.43ｇ（前年同期比－45,431.16ｇ）
乾燥大麻　20,677.09ｇ（前年同期比＋17,228.08ｇ）
大麻草　752本（前年同期比＋　700 本）

(3) 銃器犯罪の検挙状況

検挙件数　15件（前年同期比－４件）
検挙人員　13人（前年同期比－９人）
拳銃押収　17丁（前年同期比－９丁）

(4) 外国人犯罪の検挙状況

検挙件数　1,546件（前年同期比＋180件）
検挙人員　957人（前年同期比－ 35人）

【主な特徴】

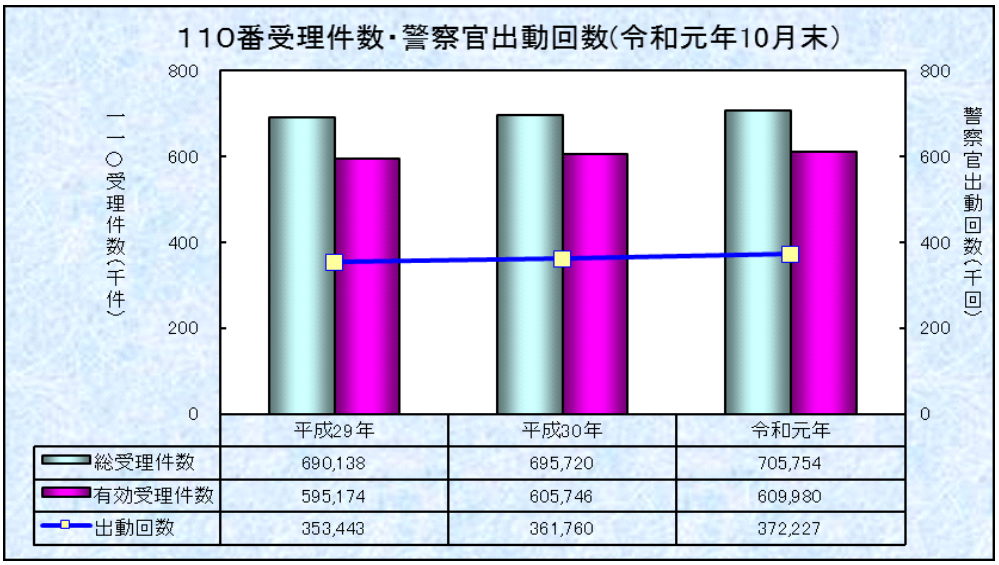
・　検挙人員のうち、不法滞在者が占める割合は約30％、永住者が占める割合は約25％

地域部関係

1　110番の受理状況（10月末）

総受理件数　70万5,754件（前年同期比＋10,034件）
有効受理件数　60万9,980件（前年同期比＋ 4,234件）

・　１日平均の総受理件数は、2,322件（前年同期比＋33件）
・　37.2秒に１件の割合で入電
・　リスポンスタイムは、平均10分45秒



2　緊急配備の実施状況（10月末）

発令件数　220件（前年同期比　－65件）
検挙件数　107件（前年同期比　－20件）
検 挙 率　48.6％（前年同期比＋4.0pt）

【検挙事例】

・　県央地区において署パトカー乗務員が殺人未遂事件犯人を検挙
・　県央地区において交通機動隊員がコンビニ強盗事件犯人を検挙

3　地域警察官の活動状況（10月末）

(1) 刑法犯の検挙状況

検挙件数　7,429件（前年同期比－1,151件）
検挙人員　7,393人（前年同期比－1,247人）

(2) 特別法犯の検挙状況

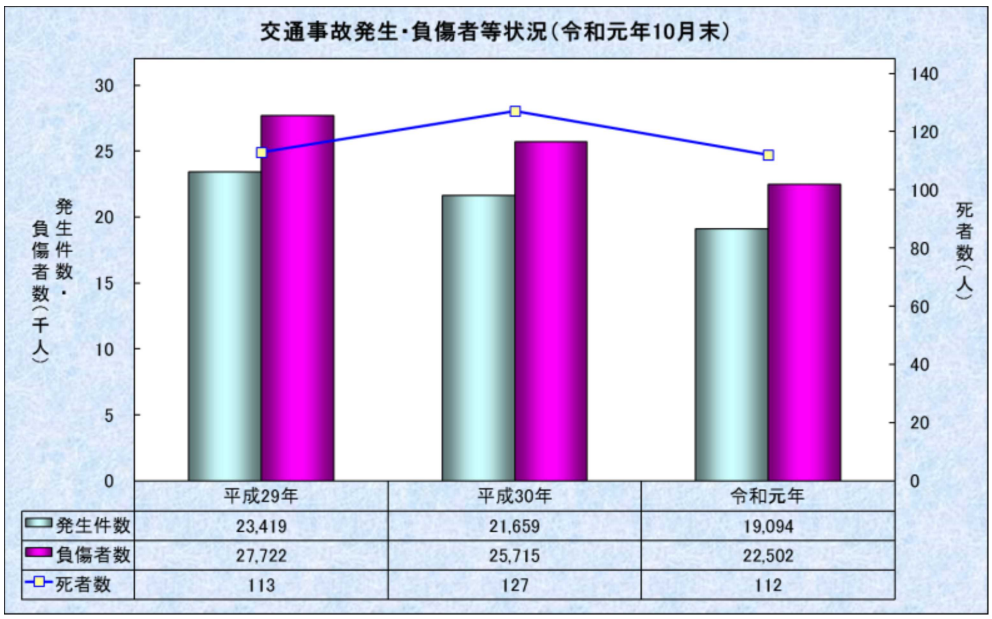
検挙件数　2,284件（前年同期比　－569件）
検挙人員　2,211人（前年同期比　－630人）

交通部関係

1　交通事故の発生状況（10月末）

(1) 人身交通事故の発生状況

発生件数　１万9,094件（前年同期比－2,565件）
負傷者数　２万2,502人（前年同期比－3,213人）
死 者 数　112人（前年同期比　－15人）



(2) 平成31年交通死亡事故抑止総合対策

交通事故死者の減少を目指し、４つの対策を強化

- 高齢者と子供の事故防止対策
- 二輪車事故防止対策
- 自転車事故防止対策
- 横断歩行者保護対策

２　重大事故事件の検挙状況（10月末）

(1) 死亡ひき逃げ事件の検挙状況

発生件数　２件（前年同期比－５件）
検挙件数　１件（前年同期比－４件）

(2) 危険運転致死傷罪の適用状況

適用件数　29件（前年同期比－１件）

３　暴走族対策（10月末）

(1) 暴走族等の現状と検挙状況（旧車會を含む。）

ア　現状

暴走族数　14グループ、627人
旧車會数　60グループ、523人

イ　検挙状況

道路交通法違反等の検挙人員　624人（前年同期比－８人）
（うち、共同危険行為等禁止違反者　50人（前年同期比－16人））

(2) 暴走族加入防止教室の開催状況

- 学校を対象とした暴走族加入防止教室等を162回開催
- 中高校生等３万8,460人が受講

４　運転免許関係（10月末）

(1) 運転免許保有者数

運転免許保有者数　564万5,401人（前年同期比＋6,214人）

	(2) 行政処分等 運転免許の行政処分　15,132件（前年同期比－1,502件） 行政処分のうち取消処分　1,529件（前年同期比　－248件） 認知機能検査の結果による取消し処分件数（暫定値）　114件 (3) 自主返納件数（暫定値） 自主返納件数　３万4,375件
警備部関係	1　2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた警備諸対策の推進 (1) 官民一体となったテロ対策の推進 ・「テロ・災害対策神奈川協力会第９回総会」の開催 ・官民連携テロ対策合同訓練の実施 ・「第12回神奈川県サイバーテロ対策重要インフラ事業者等連絡協議会」の開催 (2) 国際テロの未然防止に向けた対策等 ・重要施設、ライフライン等に対する警戒警備 ・関係機関との連携による水際対策 ・爆発物原料対策 (3) 違法事案の検挙 警視庁、埼玉県警察との合同捜査により、革労協反主流派非公然最高幹部活動家を有印私文書偽造・同行使事件の被疑者として検挙したほか、同派非公然活動家を詐欺事件の被疑者として検挙 2　大規模災害に対する警備諸対策の強化 (1) 台風第15号及び第19号に伴う警察措置 (2) 防災関係機関との連携の強化 3　警衛・警護警備（10月末） (1) 警衛 ７月の天皇皇后両陛下の「地球科学・リモートセンシング国際シンポジウム2019開会式」御臨席に伴う警衛警備等106件の警衛警備を実施 (2) 警護 ８月の「第７回アフリカ開発会議」に伴う警護警備等626件の警護警備を実施
ＣＳ対策本部関係	1　サイバーセキュリティに係る人材育成 ・サイバー犯罪捜査実戦塾及びサイバー犯罪等対処能力検定の実施 ・ＩＴ関連企業等における研修の受講 などによる捜査員の対処能力の向上 2　広報・啓発活動等の実施 ・相談電話「サイバーセキュリティホットライン」の設置 ・中小企業を対象としたサイバーセキュリティセミナー等の開催 ・サイバーセキュリティステーションの設置